

## 各種アダプタ接続方法

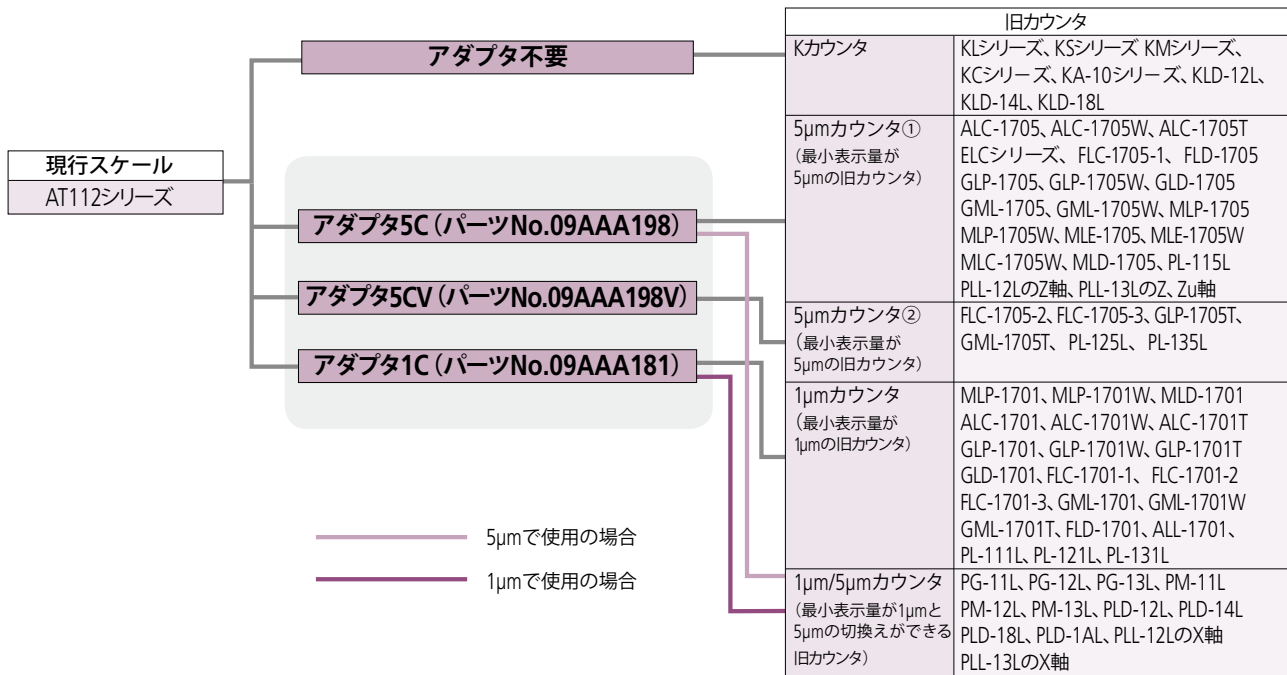
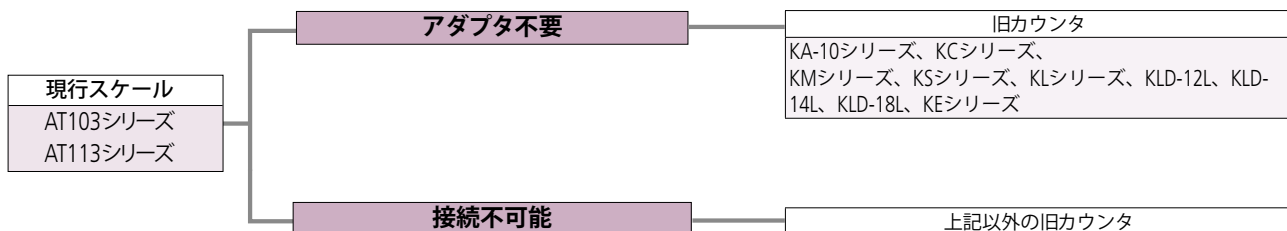
### 旧商品と現行商品接続アダプタ

旧商品と現行商品を接続する場合、アダプタが必要となる場合があります。接続するための適応アダプタは下記の構成図をご参照ください。アダプタは、カウンタ入力コネクタに接続して使用します。

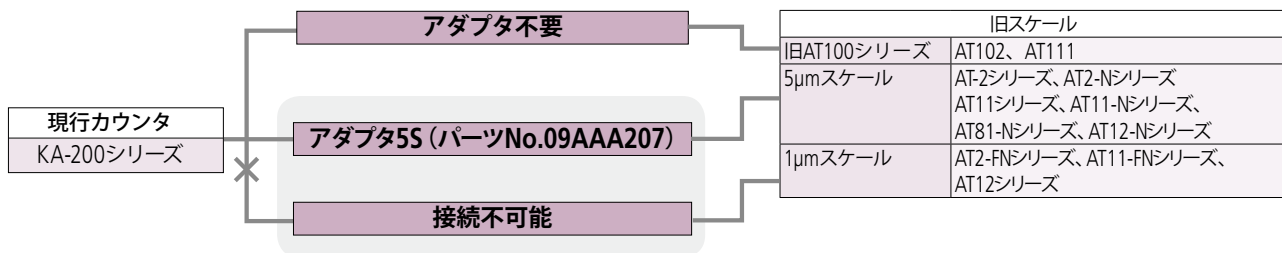
**1 $\mu$ mスケール(旧スケール)と現行カウンタ(KA-200シリーズ)との接続は不可となります。**

**AT715と旧カウンタ(KA-10シリーズ、KA-200シリーズ以外)との接続は不可となります。**

#### ● 現行リニヤスケール(AT100シリーズ)と旧カウンタとの接続アダプタ構成



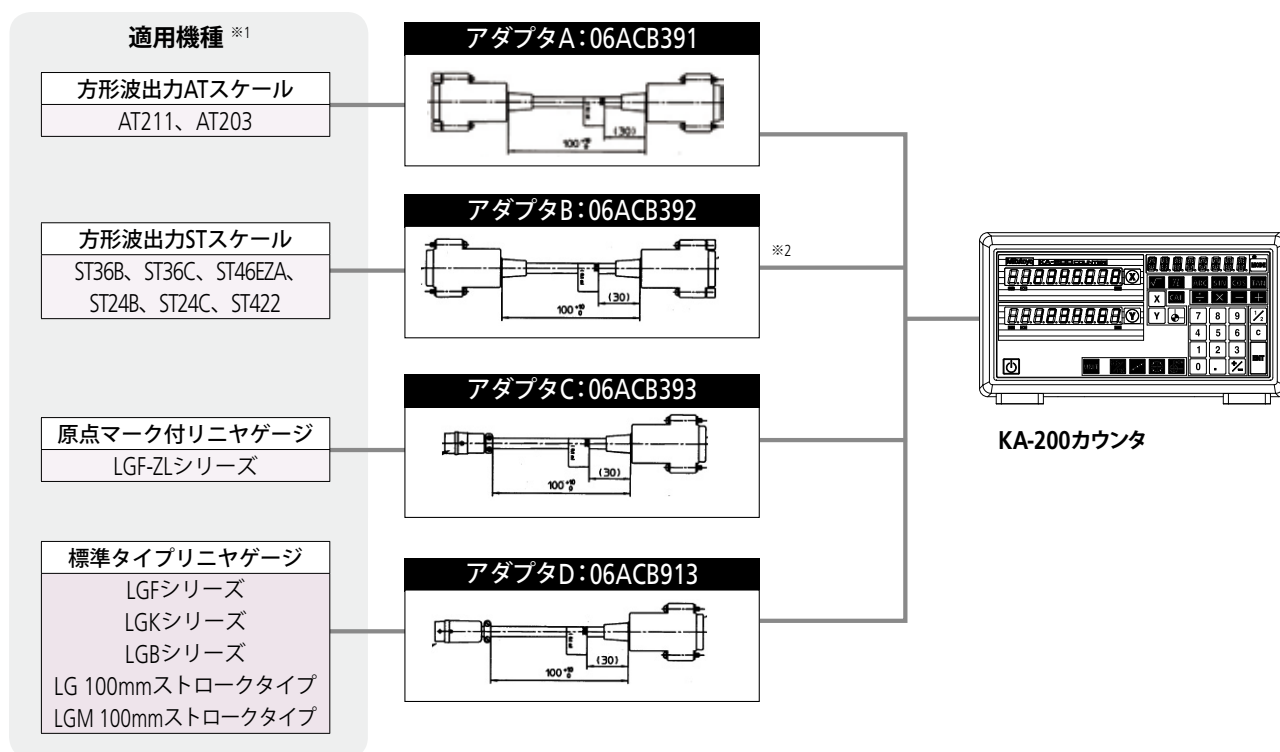
#### ● 現行カウンタと旧リニヤスケールとの接続アダプタ構成



## LINE 変換アダプタ

ラインドライバ出力のリニヤスケール及びリニヤゲージとKA-200を接続するためのアダプタです。

### ● ラインドライバ出力機種とKA-200接続用アダプタ構成



※1: 方形波出力スケール、リニヤゲージの仕様につきましては、制御用リニヤスケールシステム (No.13005) 及びリニヤゲージカタログ (No.13007) を参照ください。

※2: アダプタBとカウンタ間にケーブルが必要となります。

別売のST用信号ケーブル2m/3m/5mを使用いただくか、STスケール標準付属コネクタを使用してカウンタまでのケーブルを製作ください。

その他アダプタは、カウンタに直結して使用できます。

**注意** 上記アダプタを使用する際は、接続する機種の分解能によって最大応答速度が決まってきます。

●KA-200カウンタのパラメータ96の設定値を5 (入力周波数300kHz) にした場合

接続機種の分解能	最大応答速度
1um	300mm/s
0.5um	150mm/s
0.2um	60mm/s
0.1um	30mm/s